

平成30年度 決算状況を お知らせします

平成30年度うきは市の一般会計・特別会計の決算が9月議会で認定されましたのでお知らせします。昨年度のうきは市におきましては、普通会計(※1)の実質収支において1億7,539万円の黒字となりました。普通会計では、歳入総額163億284万円、歳出総額159億5,168万円、差引3億5,116万円が令和元年度へ繰り越されました。歳入・歳出の状況については次のとおりです。
※端数処理により、構成比率合計が合わない場合があります。

市の財政状況

普通会計における、うきは市の借金(地方債)は、前年度から6億4,030万円減少し、125億303万円になり、市民1人当たり約42万3千円になります。貯金(基金)は8,250万円減の115億7,294万円で1人当たり約39万1千円になります。財政構造の弾力性を判断する指数である経常収支比率(※2)は前年度から4.6ポイント上昇し98.1%になっています。

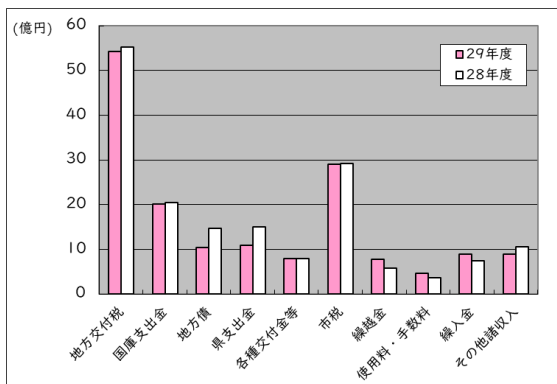
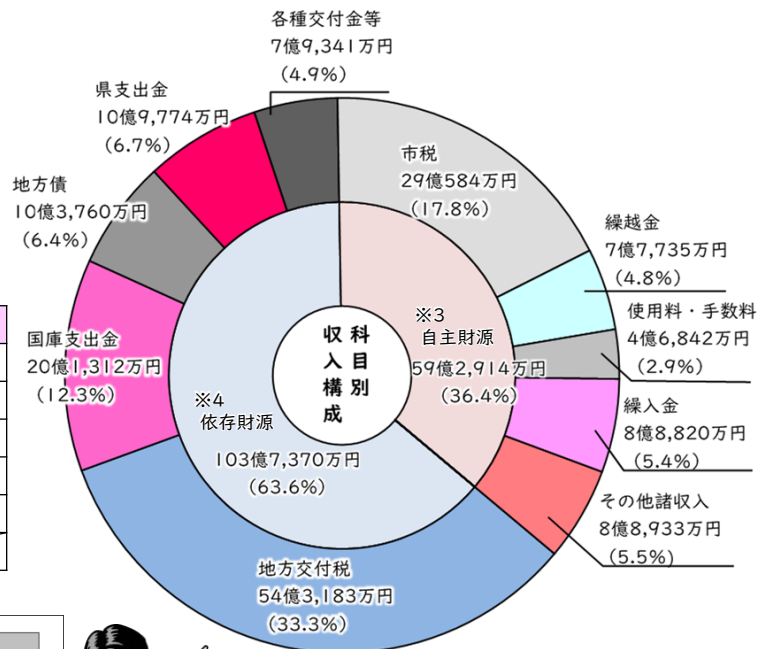
市の財政状況は、地方交付税の合併特例措置が段階的に縮減し、歳入の減収が見込まれ今後も厳しい財政運営が求められます。こうした状況の中、財政健全化法に基づき全事業で事業の適正化・見直しを行い、行財政の簡素効率化を推進し、住みよいまち・うきは市の実現を目指します。

歳入

総額(普通会計)163億284万円
…前年度に比べて4.1%減
(7億200万円減)

市税の内訳

税目	収入額(万円)	1人当たり(円)
市民税	119,923	40,553
固定資産税	139,143	47,052
軽自動車税	11,605	3,924
市たばこ税	19,180	6,486
計	289,851	98,015
入湯税	733	



歳入は、市税が歳入全体の17.8%にあたる29億584万円(前年度比0.7%減)になっています。その要因としては、固定資産税が1,505万円減少したことによります。また、歳入全体の33.3%を占める地方交付税は、54億3,183万円(前年度比1.7%減)になっています。地方債は歳入全体の6.4%にあたる10億3,760万円(前年度比29.5%減)を借り入れ、その主なものは、合併特例事業債(7億5,390万円)です。

★ひとくちメモ/用語解説

※1 **普通会計** 統計上の比較のための会計。うきは市では、「一般会計」「住宅新築資金等貸付事業特別会計」「自動車学校特別会計」を合算したもの。

※2 **経常収支比率** 市税や普通交付税など毎年度恒常的に収入され、自由に使える財源が人件費・扶助費など経常的経費(毎年度継続して支出される経費、行政運営上必要不可欠な経費)にどれだけ使われたかを示す比率。数値が低いほど財政構造の余裕を示す。

※3 **自主財源** 市で自主的に収入できる財源

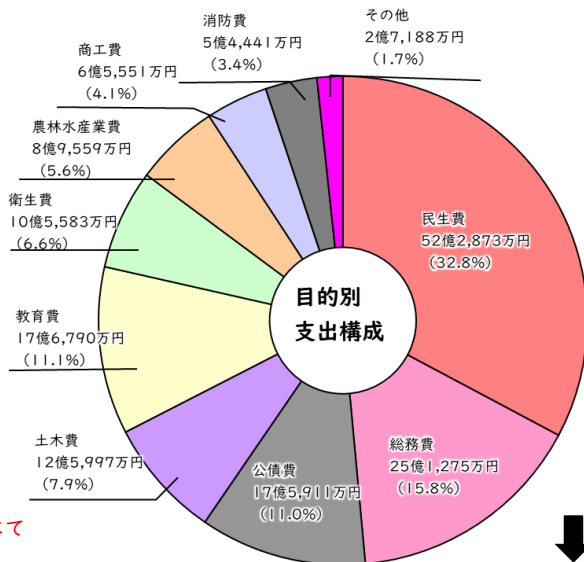
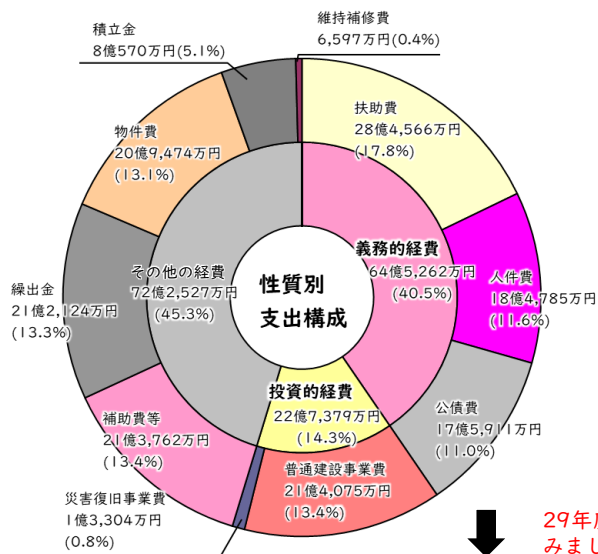
※4 **依存財源** 国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりして収入する財源

単位：万円

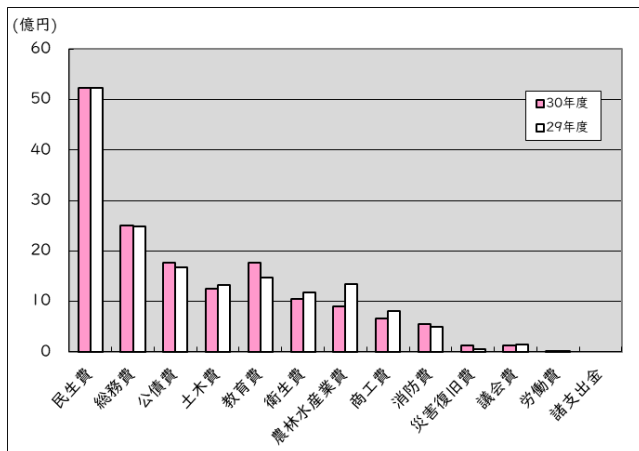
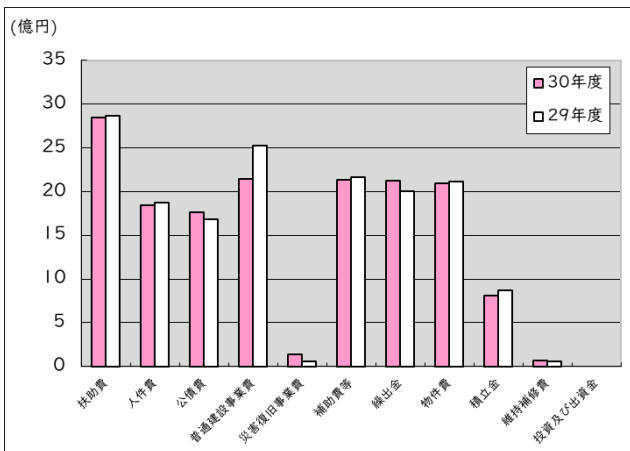
その他の内訳	支出額	構成比
災害復旧費	13,304	0.8%
議会費	12,966	0.8%
労働費	918	0.1%
諸支出金	0	0.0%
小計	27,188	1.7%

歳出

総額（普通会計）159億5,168万円
 …前年度に比べて1.7%減（2億7,581万円減）



29年度と比べて
みましよう！



歳出は、人件費・扶助費・公債費の義務的経費が全体の40.5%の64億5,262万円（前年度比0.5%増）となっています。建物や道路などの施設整備等にかかる投資的経費は、全体の14.3%の22億7,379万円（前年度比11.9%減）になっています。減少の主な要因は久留米・うきは工業用地造成事業公共施設負担金によるものです。

歳出を目的別に見ると、民生費が52億2,873万円（前年度比0.1%増）で、総務費が25億1,275万円（前年度比1.2%増）、公債費17億5,911万円（前年度比4.5%増）、教育費17億6,790万円（前年度比17.1%増）となっています。教育費が増加した要因は（新）生涯学習センター建設工事によるものです。

積立金現在高

単位：(万円)

普通会計	30年度末	29年度末	年度内増減
財政調整基金	490,013	484,627	5,386
自動車学校財政調整基金	28,296	27,532	764
公共施設等整備基金	145,346	149,491	△ 4,145
(合併)振興基金	132,195	146,140	△ 13,945
減債基金	104,427	100,606	3,821
地域振興基金	80,153	77,164	2,989
地域福祉基金	54,766	54,736	30
ふるさと創生基金	33,749	38,536	△ 4,787
山村地域振興基金	9,160	10,039	△ 879
森林整備担い手対策基金	26,868	26,931	△ 63
水源かん養事業基金	7,771	12,416	△ 4,645
ふるさと・まごころ基金	31,829	24,953	6,876
その他基金5件	12,721	12,373	348
合計	1,157,294	1,165,544	△ 8,250
土地開発基金(現金等：万円)	37,757	37,445	312
(土地：㎡)	3,139	3,139	0

地方債残高

単位：(万円)

地方債の残高の状況

会計	30年度末	29年度末	年度内増減
一般会計	1,250,266	1,314,163	△ 63,897
住宅新築資金等貸付事業	37	170	△ 133
普通会計 合計	1,250,303	1,314,333	△ 64,030
簡易水道事業	9,894	9,659	235
下水道事業	1,018,502	1,056,731	△ 38,229
農業集落排水事業	0	7,842	△ 7,842
浄化槽整備事業	15,217	15,401	△ 184
合計	2,293,916	2,403,966	△ 110,050

特別会計の決算状況

単位：(万円)

	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険事業	395,432	388,065	7,367
後期高齢者医療事業	47,558	47,314	244
簡易水道事業	2,237	2,112	125
下水道事業	135,508	133,233	2,275
農業集落排水事業	10,523	10,265	258
浄化槽整備事業	5,559	5,271	288

30年度に行った主な事業 決算額（単位：千円）

① 将来のうきは市を担う人を育み、大切にしています

・民間保育所運営費（うきは幸輪保育園委託料他）	259,564
・木育支援事業	1,215
・人権・同和教育費（人権セミナー他）	6,476
・かがやく“ひと”育成事業（うきは市民大学開講費他）	9,858
・うきはっ子の豊かな心育成事業	5,702
・幼稚園就園奨励費	17,965
・不登校児童生徒適応指導事業	6,379
・放課後児童対策費	50,970
・スクールバス購入費及び車庫設置工事費	10,024

② 活力にあふれ、まち全体がにぎわっています

・木材利用促進助成事業費補助金	5,680
・商工会各種事業費補助金	27,808
・臨時経済対策商品券発行事業費補助金	19,963
・久留米・うきは工業用地造成事業負担金	243,239
・拠点整備事業費（6次産業化研究開発・事業化支援センター）	127,700
・「うきは」まるごとサテライトワーク推進事業（鏡田屋敷整備事業）	8,670
・労働諸費（うきは市無料職業紹介所）	5,118
・農業次世代人材投資事業費補助金	33,000
・木材関連産業活性化事業費	19,537
・うきは市観光教育総合学習プログラム支援等委託料	3,186

③ 誰もが生き生きと安心して健康に暮らしています

・一般介護予防事業（介護予防サポーター養成事業他）	10,919
・母子保健事業（妊婦健診委託料他）	25,023
・予防接種費	89,891
・総合健診等委託料	34,392
・障害者自立支援対策事業	894,104
・敬老祝金・敬老会開催経費	14,198
・ふれあい入浴補助券給付費	3,983
・食育対策事業（食育推進教室委託料他）	2,626

④ 安全で安心なまちで、住みよさを実感しています

・道路維持補修費	162,948
・地方路線バス対策費	15,779
・空き家リフォーム補助金	5,700
・伝統的建造物保存対策事業（伝統的建造物群保存地区保存対策補助金他）	59,703
・うきはは久留米環境施設組合負担金（し尿・ごみ）	578,895
・各種ごみ収集等委託料	109,625
・空家等対策推進事業	8,284
・防災対策費	5,316
・防犯対策費（防犯灯設置費補助金他）	6,719

⑤ みんなの力で協働して支えるまちづくりを進めています

・地域づくり活動費補助金	2,546
・ふるさと創生事業（個性あるまちづくり事業費補助金他）	51,759
・地域コミュニティ支援事業	103,352
・広報費（広報うきは印刷製本費他）	5,736
・徴収対策アドバイザー謝金	1,200
・コンビニエンスストア収納業務委託料	2,472

▼6次産業化研究開発・事業化センター 建設事業



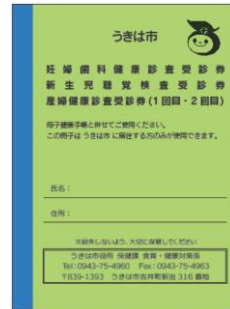
農業者の所得増大の推進、地域産業の振興を図るため、地域農産物等を活用した加工品等の研究開発及び事業化に向けた支援を行う施設を建設しました。

▼鏡田屋敷整備事業



企業のサテライトワークを推進するため、鏡田屋敷においてオフィス環境整備工事やテレビ会議システム、OA機器等備品を導入し環境整備を行いました。

▼母子保健事業



妊娠中から産後の母子を支えるために、妊婦歯科健康診査、産婦健康診査、新生児聴覚検査、産後ケア事業の4つの母子保健事業を新規に開始しました。

▼スクールバス購入費等



妹川小学校が閉校し、今年度4月より御幸小学校へ統合されたことに伴い、登下校に使用するスクールバスの購入及び車庫の整備を行いました。

▼観光教育総合学習プログラム支援等委託料



吉井小学校・御幸小学校の5年生を対象に観光アプリ等を通し、ICT教育、観光学習、観光マップづくりを実施し、うきは市公式アプリ「おさんぼうきは」に掲載しました。

地方自治体の財政状況を見極める4つのものさし 財政健全化判断比率（健全化4指標）



平成30年度のうきは市
決算を診断してみると…

（単位：％）

	うきは市	早期健全化基準 （黄信号）	財政再生基準
実質赤字比率	-	13.55	20.00
連結実質赤字比率	-	18.55	30.00
実質公債費比率	10.7	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	

（注）「-」：実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、赤字でないため「-」で表示しています。将来負担比率は、将来負担額を充当可能財源が上回るため「-」で表示しています。

財政健全化判断比率とは

「財政健全化法」により、自治体は財政に関する4つの指標（実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率）を公開し、財政状況の改善に取り組むことが求められるようになってきました。4指標のうち1つでも早期健全化基準を超えると「早期健全化団体」とみなされ、財政健全化計画の策定が義務付けられます。また将来負担比率を除く3指標が悪化して1つでも財政再生基準を超えると「破たん」と見なされ、国の関与のもと財政的な制限が行われます。

【実質赤字比率】

福祉や教育など、自治体の行政運営の基本的な経費をまとめた「普通会計」の赤字の程度を測る指標です。

【連結実質赤字比率】

「普通会計」と下水道事業や国民健康保険事業などの「特別会計」を合算（連結）して、赤字の程度を測る指標です。

【実質公債費比率】

自治体の財政規模に対して、借入金（地方債）の返済額の程度を測る指標です。

【将来負担比率】

自治体の財政規模に対して、将来どの程度借入額などの支払残高があるのかを測る指標です。

●問合せ

企画財政課 財政係 Tel73-9152

久留米朝倉地区・縣市町村合同公売会

地方税の滞納処分により差し押さえた財産（物品）を公売します。

◇日時

11月16日（土）12時45分開場、13時30分入札開始

◇場所

大刀洗ドリームセンター内ドリームホール
（大刀洗町大字富多819番地）

◇出品物

家電、日用品、美術品など（詳細はうきは市HPに掲載）

◇必要なもの

購入代金、身分証明書（運転免許証など）、印鑑、委任状（代理人の場合）

◇主催

久留米県税事務所、久留米市、うきは市、大刀洗町、東峰村

●問合せ うきは市徴収対策室 Tel75-4977



▲過去の合同公売会の様子

☆11月5日から住民票とマイナンバーカードに旧姓（旧氏）が併記できます！

婚姻等で氏（うじ）に変更があった場合でも、今までの氏をマイナンバーカード等に併記し公証することができるようになるため、旧氏を契約などさまざまな場面で活用することや、就職や職場等での証明にすることができます。

住民票に旧氏を併記するためには、戸籍謄本を持って市民生活課住民係での請求手続きが必要になります。住民票に旧氏が併記されると、マイナンバーカードや公的個人認証サービスの署名用電子証明書にも旧氏が併記されます。

☆休日でもマイナンバーカードの申請及び受け取りができます！

11月から毎月第2日曜日（9時～12時）にマイナンバーカードの申請サポートやカード交付を行います！マイナンバーカードは誰でも簡単に取得できる公的な身分証明書です。面倒だと思われる申請を一緒に行っていきます。写真撮影は無料で行います。

※マイナンバーカード受け取りの場合、必ず予約の電話をお願いします。申請される方は予約は不要です。

◇持ってくるもの

○通知カード（紛失している場合は当日窓口でお伝えください。） ○印鑑 ○本人確認書類

◇受付場所 うきは市役所 市民生活課 住民係窓口

●問合せ 市民生活課 住民係 Tel75-4972